



## 雨漏り修理に絶対的自信

一般社団法人雨漏り検診技術開発研究所(通称アマケン) 所長 大瀧正)は、外装工事を営む事業者を中心に組織し、クオリティの高い検査技術と、公正で中立な立場で活動する団体として平成21年10月に設立した。

現在、首都圏を中心に活動している比較的小規模な外装施工業者のオーナーや役員を中心に構成され、会員数57名(雨漏り検診アドバイザー・雨漏り検診士)を輩出、年間2~300件の雨漏り事案解決の実績を有する。

雨漏り事案を積極的に取扱い、確実に成果を上げる為、様々な雨漏り検査技術を採用している。雨漏り調査依頼を受けた際、関係者とヒアリングし問診表を作成する。これは医療機関の問診と似て、検査や診断をする際、前もって建物概要の他、雨漏り発生状況に加え、物理的(高所や狭所物件・近隣との関係)に検査が可能か否かを事前に把握する。実際の雨漏り調査では、的確な検査の実施と正確な雨漏り原因の特定を可能にする雨漏り検査装置と検査方法『特許登録技術』で、具体的には、